



2030年に向けて
世界が合意した
「持続可能な開発目標」です



一般社団法人地域連携ネットワークみえ

三重県伊勢市御薮町長屋1963
(株)エホリューション内 (☎0596-63-5080 FAX0696-65-7006)
E-mail info@3c-mie.net <https://3c-mie.net/>



朝夕がめっきり涼しくなり秋の気配を実感してきました。
秋というと読書の秋、スポーツの秋、芸術の秋、そして食欲の秋とか言われます。
このように昔からいろいろと言われますが、秋は「学びの秋」でもあります。
今、盛んにリカレント教育が国をあげて言われています。世間ではリカレントとかリスキリングとか言う言葉が飛び交っており、「社会人の学び直し」という解釈が一般的ですが、これまでも生涯学習という言葉はありました。
生涯学習は豊かな人生を送ることを目的としていると思いますが、人生100年時代が現実的となってきている昨今、生涯働き続けることも視野に入れて、仕事やキャリアに活かすための学びが求められているとも言われています。
今回は、当社代表川井としてではなく、リカレント教育コーディネーターとしての立場で投稿させていただきます。



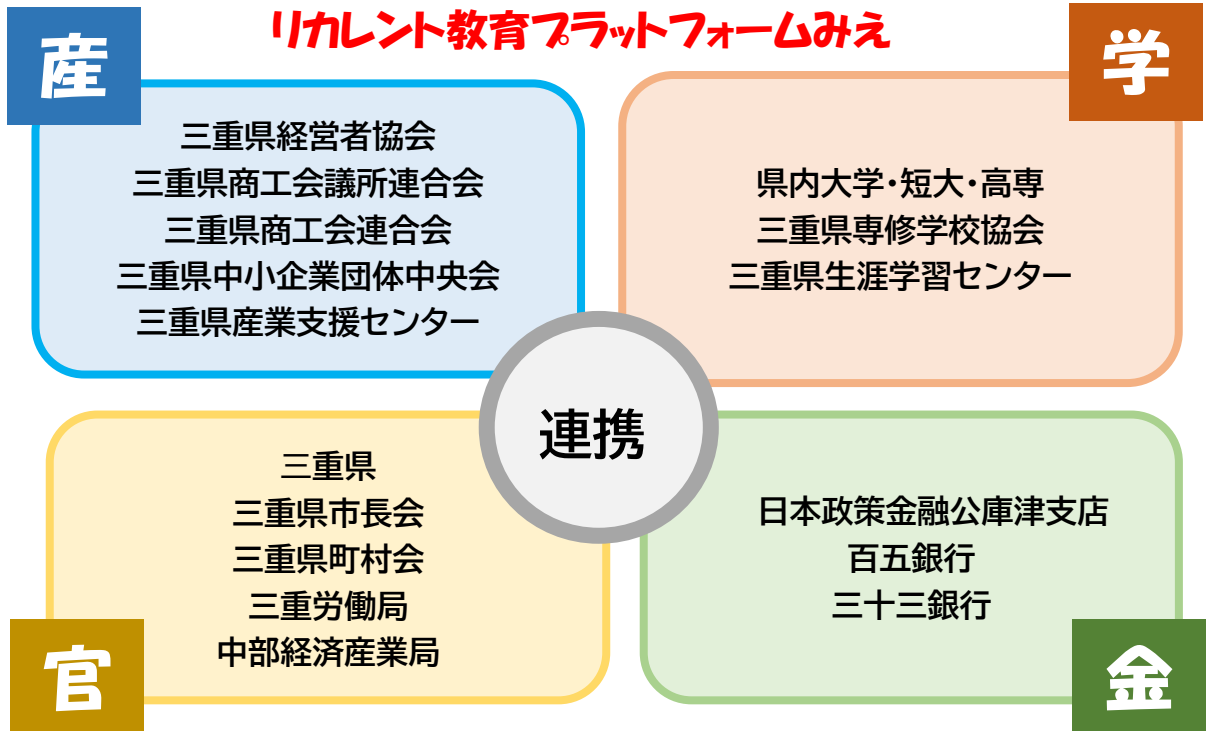
三重大学 リカレント教育
特任教授 川井 勝

平成28年に三重県内にある14の高等教育機関で高等教育コンソーシアムみえが設立されています。これはオール三重体制で三重県の新時代を切り開く人材「三重創生ファンタジスタ」の育成、学生の地域貢献活動の支援を進めていくというものです。
令和5年度より、この高等教育コンソーシアムみえを核として産学官金が連携してプラットフォームを形成し、大学等と社会とのつながりをより深め、三重県におけるリカレント教育を推進し、地域ニーズに応える人材の継続的な輩出に取り組もうとしています。

8月30日に開催された産学官金連携協議会において正式に「リカレント教育プラットフォームみえ」がスタートしました。



第一回産学官金連携協議会風景



- <プラットフォームで取り組むこと>
- ① 企業・団体・自治体等の人材ニーズを把握するためアンケートの実施、訪問ヒヤリングを実施します。
 - ② 県内高等教育機関の教育コンテンツを集約し、地域に発信し情報共有を行います。
 - ③ 企業・団体・自治体等の人材ニーズと県内高等教育機関の教育コンテンツを結ぶ活動を進めます。
 - ④ リカレント教育にかかる理解を促進するためセミナーやシンポジウムを開催します。

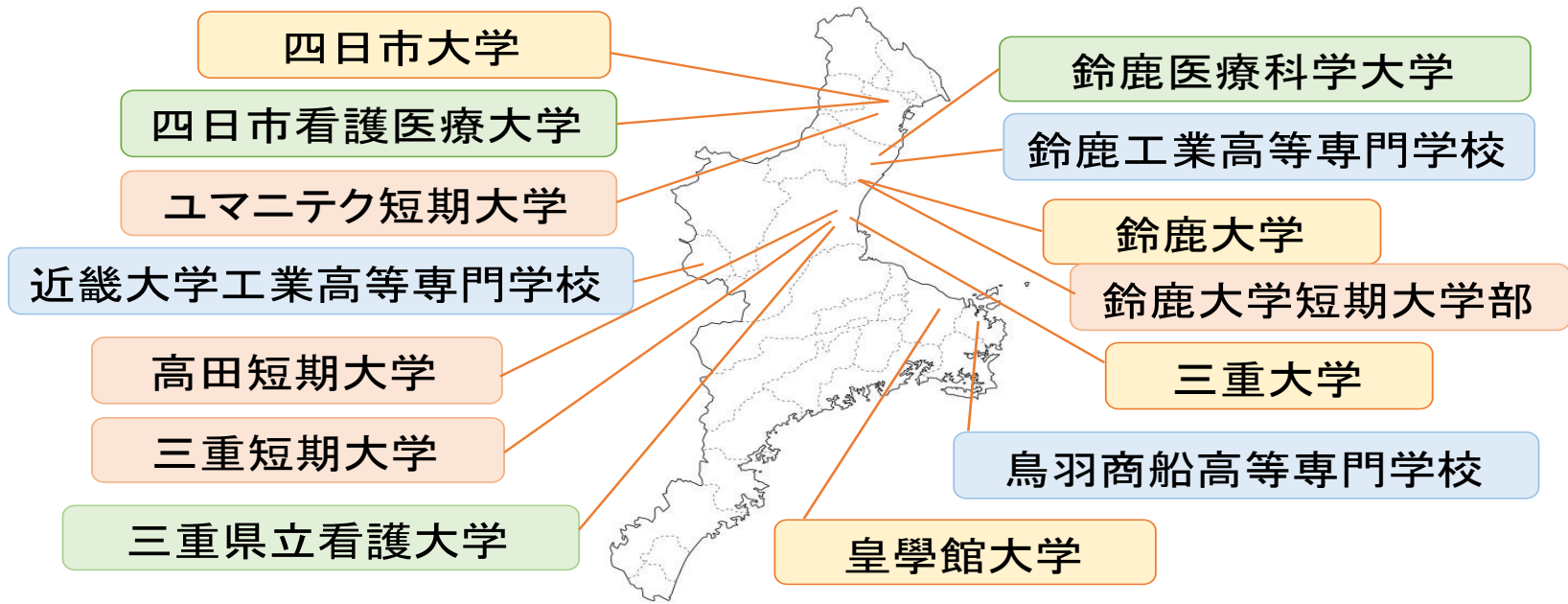


9月には第一回のリカレントセミナーが津市内で開催されました。
第1部では、人材サービス産業の研究員を招き、日本企業の伝統的経営におけるリスキリングの実態が解説されました。
第2部では、大手企業の人材担当責任者の方に参加いただきパネルディスカッションが行われ、多くの方に参加いただきました。今後、12月と来年1月にも予定いたします。





県内高等教育機関をご紹介します



文部科学省が定義するリカレント教育の範囲は以下のようなイメージ

リカレント教育

社会変化への対応や自己実現を図るための
以下の①②③を内包した社会人の学び直し

① リスキリング

時代のニーズに即して職業上新たに
求められる能力・スキルを見るつけること

② アップリスキリング

現在の職務を遂行する上で求められる
能力・スキルを追加的に身に着けること

③ 職業とは直接的に結びつかない技術や教養等を身に付けること

出所：第11期中央教育審議会生涯学習文化会における議論の整理（令和4年8月）より

*** お知らせ ***

来たる11月10日(金)14時からプラザ洞津にて「リカレント教育シンポジウム」が開催されます。
東京理科大学、富山大学、愛媛大学ならびに神戸市からリカレント教育のご担当者を招き、それぞれの取り組みを紹介いただきます。その後、四日市大学岩崎学長をモデレーターにパネルディスカッションが行われます。
どなたでも参加いただけますので、是非ご予約下さい。

主催：リカレント教育プラットフォームみえ(事務局 三重大学)

トピックス



この度、当ネットワークの法人会員「JAみえなか」の営農指導員のみなさんを対象に「次の世代にちゃんと承継されていく田畑であって欲しい～経済・社会・環境的要素の“和”を以って田畑の資産価値を捉え直す農のSDGs～」というテーマで勉強会が開催されました。講師は、当法人会員でもある「グルーンスポーツアライアンス」の澤田理事長に(今回は、三重大学大学院博士課程の研究者として)協力をいただいたものです。

これまで圃場等で採取された土壌の分析データ結果を説明いただくとともに、当日は測定器(ソイルスキャナー)を使って短時間での測定実演やデータ解析の裏にあるDX(アルゴリズム)の核心部分を紹介いただきました。また、氏が取り組んでいるハルシバヤナギによる土地利活用の考察についても講義をされました。

